

(裏)

り災物件明細書の記載要領

- 1 品名・数量の欄は、動産の品名ごとに数量を記入してください。
例) 背広 3、靴類 30、下着類 50、食器類 150、本 300 等
- 2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
 - (1) 焼損：火災によって焼けたもの及び熱によって炭化、溶融又は破損したものなど。
 - (2) 水損：消火のために濡れたもの、壊れたもの及び汚れたものなど。
 - (3) その他：煙で汚れたもの、運び出す時に壊れたもの及び避難する時に壊れたものなど。
- 3 損害見積額又は購入時価格の欄は、り災した物件の使用年数等を考慮して、被害の程度により損害額を見積り、また、損害額が見積れない場合は、購入時の価格と使用年数を記入してください。
- 4 ※の欄は記入しないでください。